通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

ログインID　※必須	
パスワード　※必須	

ログイン

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

以下のURLは、サンプルイメージです。そのままコピーできませんので、「一時保存」を押して出てきた個別のURLをコピー＆ペーストしてください。

ご回答いただいたデータを一時保存しました。

ご注意ください

・回答を再開する場合は、下記の再開URLにアクセスしてください。
※再開URLがわからなくなった場合、保存したデータからの再開はできません。
再開URLはメールで送信するかメモ帳などにコピーし、必ずお控えください。
※ログインページがある場合は、ログイン画面からも再開できます。

・回答の一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されます。

再開用URL	https://www14.webcas.net/form/pub/sei37/tannin202611?rid=OawXLJ1kD73v643SYJJPQiT%2FDQc47tFzA053iMKckNk%3D
回答の一時保存期限	2026年11月09日 16時55分

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所

通常の学級担任の先生にご回答いただくにあたってのお願い

日頃より、国立特別支援教育総合研究所の研究活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本書は、通常の学級担任票をWebアンケートフォームで回答する方法をまとめたものです。
本調査への参加は任意です。回答しない場合にも、不利益はありません。

記

1　回答をお願いする方

学校から担任票の回答案内を受けた方にお願いします。回答者の選定方法は、学校長用の【資料2-5】「調査回答者の選定方法について」に示しています。担任個人の努力や力量を評価する調査ではありません。

2　回答期間・所要時間

回答期間は令和8年10月26日から11月30日までです。所要時間は約30分です。

3　回答前に準備するもの

・担任票の回答用URL又はQRコード
・封筒の宛名部分に記載された学校コード
・御自身で決める任意の４桁数字

4　回答の手順

（1）担任票のURLを開くか、QRコードを読み取ります。
（2）学校コード〔必須〕（封筒の宛名右上部分に記載）を入力します。
　学校コードは、調査書類をお送りした**封筒の宛名ラベル右上**に、「SC」に続けて記載されている半角英数字5文字です（例：S0001、C0001）。入力する際は、「SC」や括弧・コロンを含めず、**5文字のコードのみ**を入力してください。同じ学校で回答する場合は、学校票・コーディネーター票・担任票のいずれも、同じ学校コードを使用します。封筒がお手元にない場合は、校内で調査書類を取りまとめている方にご確認ください。
　　【例】宛名ラベルの表示（SC：C0001）の場合、入力する学校コード：C0001　となります。
　　※小学校はSから始まる５文字、中学校はCから始まる５文字となります。
（3）説明を読み、回答へ協力する場合は「協力し、担任票に回答する」を選びます。
（4）質問に回答し、内容を確認して送信します。

5　回答時のお願い

・学校として協力している場合でも、御本人の回答は任意です。
・担当する学級の状況について回答してください。
・分からないことは、推測せず、選択肢に沿って回答してください。
・自由記述以外の項目は、必須回答となっておりますので、回答しないと先に進めません。
・回答中に時間の確保が難しくなった場合や負担を感じた場合は、途中で回答をやめることができます。
・自由記述には、学校名、氏名など、個人や学校が分かる情報を書かないでください。
・学校名と学校コードの対応表は、回答データとは別に保管します。

6　回答後に参加を取りやめる場合

令和8年12月18日（金）までに撤回用Webフォームから申し出てください。該当する担任票だけを分析対象から除外します。

撤回用Webフォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/gFQ9tCsK2s

【お問合せ先】
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター　総括研究員　横尾　俊（研究副代表者）
〒239-8585　神奈川県横須賀市野比5-1-1
電話　046-839-6866（直通）
電子メール　v-regular_inquiry@nise.go.jp

このアンケートは途中回答保存機能がございます。
以下の再開用URLと記載のある右側のURLをメモ帳にコピー＆ペーストして保管して下さい。
途中回答保存期間は、**1週間**（１６８時間）です。

※下の図はイメージです。

通常の学級における個に応じた
指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

以下のURLは、サンプルイメージです。そのままコピーできませんので、「一時保存」を押して出てきた個別のURLをコピー＆ペーストしてください。

ご回答いただいたデータを一時保存しました。

ご注意ください

・回答を再開する場合は、下記の再開URLにアクセスしてください。
※再開URLがわからなくなった場合、保存したデータからの再開はできません。
再開URLはメールで送信するかメモ帳などにコピーし、必ずお控えください。
※ログインページがある場合は、ログイン画面からも再開できます。
・回答の一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されます。

再開用URL	https://www14.webcas.net/form/pub/sei37/tannin202611?rid=OawXLJ1kD73v643SYJJPQiT%2FDQc47tFzA053iMKckNk%3D
回答の一時保存期限	**2026年11月09日 16時55分**

戻る

通常の学級における個に応じた
指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

担任票　協力同意

封筒ラベルに記載のある５桁の学校コードを半角英数字５文字で入力してください。　※必須	
本調査に協力し、担任票に回答しますか。　※必須	◯ 協力し、担任票に回答する ◯ 協力しない

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

担任票

任意の４桁の数字 ※必須	
担任区分 ※必須	◯ 小学校第1～3学年側 ◯ 小学校第4～6学年側 ◯ 中学校第1学年 ◯ 中学校第3学年

【調査の目的】

本調査は、通常の学級における個に応じた指導・支援の状況を把握し、学校での実践や校内支援体制づくりに役立つ知見として整理することを目的としています。
具体的には、以下の観点に着目して関連を整理します。

① 児童生徒の学びの状態と日常の指導・支援
② 担任の指導・支援と校内での相談・情報共有
③ 学校としての方針・支援体制と、特別支援教育コーディネーターによる相談・調整や担任の受け止め

また、担任、特別支援教育コーディネーター、管理職等の異なる立場から同じ学校の支援の状況を把握するため、学校票・コーディネーター票・担任票の３種類の調査票を用います。１校当たり、学校票１名、コーディネーター票１名、担任票２名の計４名にご回答いただき、学校としての方針や支援体制、校内での相談・調整、日常の指導・支援がどのように関係しているかを検討します。

個々の学校や教員を順位づけたり判定したりするものではありません。回答は研究目的に限って使用し、個人や学校が特定される形で公表しません。

この調査に正解・不正解はありません。自由記述以外の項目は、すべて御回答いただかないと送信できません。回答者ご自身が把握している範囲で、今年度の状況に最も近い回答を選んでください。

小学校及び義務教育学校前期課程では、回答者が担任されている通常の学級を対象とします。

中学校及び義務教育学校後期課程では、学級の状態・学級経営に関する項目は、回答者が担任している通常の学級についてお答えください。授業実践に関する項目は、その学級で担当している教科等の授業場面についてお答えください。校内での相談・情報共有、困難感、必要な支援は、今年度担任している回答対象学級での経験を中心にお答えください。

【この調査で想定する児童生徒】

診断や通級による指導の利用の有無にかかわらず、日常の学習・生活場面において、特別な教育的支援が必要であると感じられる児童生徒を想定します。

【回答方法】

各設問に示す選択肢に沿って、回答してください。

戻る　次へ

一時保存

■ 担任区分:小学校第1～3学年側

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
(通常の担任票)

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。 ※ 必須	◯ 小学校 ◯ 義務教育学校 ◯ その他
TA-02　回答者のお立場　※ 必須	☐ 通常の学級の学級担任 ☐ 学年担任制等における主担当 ☐ その他
T-A-04　担任する学年　※ 必須	◯ 小1 ◯ 小2 ◯ 小3 ◯ 複数学年

戻る　　次へ

一時保存

■ 担任区分：小学校第4～6学年側

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。 ※必須	○ 小学校 ○ 義務教育学校 ○ その他
TA-02　回答者のお立場　※必須	□ 通常の学級の学級担任 □ 学年担任制等における主担当 □ その他
T-A-04　担任する学年　※必須	○ 小4 ○ 小5 ○ 小6 ○ 複数学年

戻る　　次へ

一時保存

■ 担任区分：中学校第1学年

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。
※必須

- ○ 中学校
- ○ 義務教育学校
- ○ その他

TA-02　回答者のお立場　※必須

- □ 通常の学級の学級担任
- □ 学年担任制等における主担当
- □ その他

TA-03　担当教科（複数回答可）
※必須

- □ 国語
- □ 社会
- □ 数学
- □ 理科
- □ 外国語
- □ 音楽
- □ 美術
- □ 保健体育
- □ 技術・家庭
- □ その他

T-A-04　担任する学年　※必須

- ○ 中1
- ○ 中2
- ○ 複数学年

戻る　　次へ

一時保存

■ 担任区分：中学校第3学年

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。
※必須

- ○ 中学校
- ○ 義務教育学校
- ○ その他

TA-02　回答者のお立場　※必須

- □ 通常の学級の学級担任
- □ 学年担任制等における主担当
- □ その他

TA-03　担当教科（複数回答可）
※必須

- □ 国語
- □ 社会
- □ 数学
- □ 理科
- □ 外国語
- □ 音楽
- □ 美術
- □ 保健体育
- □ 技術・家庭
- □ その他

T-A-04　担任する学年　※必須

- ○ 中2
- ○ 中3
- ○ 複数学年

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

A　回答者・学級等について

T-A-05　教職経験（今年度を含めて何年目ですか）　※必須

- ◯ 1年目
- ◯ 2～3年目
- ◯ 4～10年目
- ◯ 11～20年目
- ◯ 21年目以上

T-A-05a　特別支援教育に関する担当経験（複数回答可）　※必須

- ☐ 特別支援学校での勤務
- ☐ 特別支援学級の担任・担当
- ☐ 通級による指導の担当
- ☐ 特別支援教育コーディネーター
- ☐ その他
- ☐ 上記の経験なし

T-A-05b　特別支援教育に関する担当等の経験（今年度を含め、担当経験は通算で何年目ですか。同じ年度に複数の担当を兼ねていた場合も、１年として数えてください。）　※必須

- ◯ 1年目
- ◯ 2～3 年目
- ◯ 4 ～10 年目
- ◯ 11～20 年目
- ◯ 21 年目以上
- ◯ 該当する経験なし

T-A-06　回答の対象とする学級の児童生徒数　※必須

- ◯ 10人未満
- ◯ 10～19人
- ◯ 20～29人
- ◯ 30～39人
- ◯ 40人以上

T-A-07　回答の対象とする学級で、特別な支援が必要と感じる児童生徒のおおよその人数　※必須

- ◯ 0人
- ◯ 1人
- ◯ 2～3人
- ◯ 4～5人
- ◯ 6人以上

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

B　回答対象の学級で見られる支援の必要性

回答対象学級において、今年度、児童生徒に見られる支援の必要性について、あてはまるものをすべて選んでください。
「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。　※必須

- [ ] 見ることへの困難さに関する支援
- [ ] 聞くことへの困難さに関する支援
- [ ] 姿勢保持、移動、書字、作業など身体の動きに関する支援
- [ ] 病気や体調管理に関する支援
- [ ] 読み、書き、計算の困難さに関する支援
- [ ] 注意の持続、活動の切り替え、学習への取り組みに関する支援
- [ ] 感情の調整、行動面の困難さに関する支援
- [ ] 友人関係や、集団での学習・生活への参加に関する支援
- [ ] ことばの理解や表現、コミュニケーションに関する支援
- [ ] その他
- [ ] 現時点では特にない

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

C　担任から見た学級の児童生徒の学びの状態

回答対象学級全体について、支援が必要な児童生徒を含む児童生徒に、次の状態がどの程度見られるかをお答えください。　※必須

	ほとんどの児童生徒に見られない	一部の児童生徒に見られる	半数程度の児童生徒に見られる	多くの児童生徒に見られる	ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-01　安心して学習に参加している。	○	○	○	○	○
T-C-02　学習の流れや、何をすればよいかを理解して取り組んでいる。	○	○	○	○	○
T-C-03　自分に合った方法や必要な支援を活用して取り組んでいる。	○	○	○	○	○

T-C-04　自分の考えや、わからないこと・困っていることがみてとれる。	○	○	○	○	○
T-C-05　間違いやうまくいかないことがあっても、学習に取り組み続けている。	○	○	○	○	○
T-C-06　学習内容を理解したり、「できた」「わかった」と感じたりしている。	○	○	○	○	○

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

D　日常の指導・支援の状況

回答対象学級で現在行っている授業・学級経営上の取組についてお答えください。中学校等では、授業に関する項目は回答対象学級で回答者が担当する教科等の授業場面を、支援に関する項目は今年度の回答対象学級での取組全体を基準にしてください。　※必須

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	よくあてはまる
T-D-01　児童生徒が授業の見通しを持てるように、活動の流れやめあてを示している。	○	○	○	○	○
T-D-02　説明、板書、配付物、ICT等を組み合わせ、内容を理解しやすいようにしている。	○	○	○	○	○
T-D-03　発言、記述、選択、実物操作など、児童生徒が考えを表しやすい方法を用意している。	○	○	○	○	○
T-D-04　課題の量、手順、時間、提示方法を、児童生徒の状況に応じて調整している。	○	○	○	○	○
T-D-05　座席、掲示、音、光、動線など、学習しやすい教室環境を整えている。	○	○	○	○	○

T-D-06　児童生徒が困ったときに、援助を求めやすい方法を確認している。	○	○	○	○	○
T-D-07　学習上・行動上の困難が見られたとき、本人の特性だけでなく、課題の提示方法や教室環境との関係も検討している。	○	○	○	○	○
T-D-08　間違いやわからないことがあっても安心して学べるようにしている。	○	○	○	○	○
T-D-09　評価の観点や課題提出の方法について、必要に応じて取り組みやすい方法を検討している。	○	○	○	○	○
T-D-10　支援が必要な児童生徒について、保護者と学校での様子や支援方針を共有している。	○	○	○	○	○
T-D-11　学年の教員や教科担当者と、児童生徒への関わり方を共有している。	○	○	○	○	○
T-D-12　指導・支援の方法を、児童生徒の様子を見ながら適宜見直している。	○	○	○	○	○

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

E　校内での相談・情報共有の状況

今年度の回答対象学級で支援が必要になった場合に、相談・情報共有を利用できる状態についてお答えください。回答は、「まったくあてはまらない」から「よくあてはまる」です。　※必須

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	よくあてはまる
T-E-01　必要な場合に、校内で相談できる相手がいる。	○	○	○	○	○
T-E-02　必要な場合に、特別支援教育コーディネーターに相談しやすい。	○	○	○	○	○
T-E-03　必要な場合に、管理職や学年主任等と、通常の学級での支援について相談できる。	○	○	○	○	○
T-E-04　必要な場合に、児童生徒への支援方針を、関係する教職員と確認できる。	○	○	○	○	○

T-E-05　必要な場合に、授業や学級経営で活用できる形で、情報や助言を得られる。	○	○	○	○	○
T-E-06　必要な場合に、校内で共有された支援方針を、日常の授業や学級経営に生かせる。	○	○	○	○	○
T-E-07　必要な場合に、外部専門家や関係機関から得た助言を、授業や学級経営に生かせる。	○	○	○	○	○

戻る

次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

F　相談・確認の頻度

今年度の回答対象学級で、相談や支援方針の確認を実際に行った頻度についてお答えください。

「必要な場面なし」と、0「必要な場面はあったが実施していない」を区別してください。
1＝年1～数回程度、2＝月 1 回程度、3＝月 2～3 回程度、4＝週 1 回以上です。
※ 必須

	必要な場面なし	必要な場面はあったが実施していない	年1～数回程度	月1回程度	月2～3回程度	週1回以上
T-F-01　支援が必要な児童生徒について、校内の教職員に相談する機会	○	○	○	○	○	○
T-F-02　支援が必要な児童生徒について、特別支援教育コーディネーターに相談する機会	○	○	○	○	○	○
T-F-03　支援内容を、学年会や校内委員会等で確認する機会	○	○	○	○	○	○
T-F-04　保護者と支援の状況や方針について共有する機会	○	○	○	○	○	○

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

G　指導・支援に困難を感じた場合の相談先

支援が必要な児童生徒への指導・支援に困難を感じた場合、あなたは誰に相談しようと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。これまでに相談した経験がない場合も、相談するとしたら誰に相談するかをお答えください。

教職員の相談先

※「14 誰にも相談しないと思う」「15 わからない」を選ぶ場合は、他の選択肢を選ばないでください。

※「16 その他」の記入欄には、個人名や学校名など、個人を特定できる情報は記入しないでください。

※必須

- [ ] 01　管理職（校長、副校長・教頭など）
- [ ] 02　特別支援教育コーディネーター
- [ ] 03　同じ学年・教科等を担当する教員
- [ ] 04　特別支援学級を担当する教員
- [ ] 05　自校通級による指導を担当する教員
- [ ] 06　他校通級による指導を担当する教員
- [ ] 07　校内のその他の教員（養護教諭を除く）
- [ ] 08　養護教諭
- [ ] 09　スクールカウンセラー
- [ ] 10　教育委員会・教育センター等の担当者
- [ ] 11　特別支援学校の相談担当者（センター的機能など）
- [ ] 12　医療機関の専門職
- [ ] 13　福祉・療育・発達相談等の機関の担当者
- [ ] 14　誰にも相談しないと思う
- [ ] 15　わからない
- [ ] 16　その他（具体的に）

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

H　通常の学級での指導・支援に関する困難さ

今年度の回答対象学級で、支援が必要な児童生徒への指導・支援に関する経験の有無を選んでください。「該当する経験なし」の場合は、T-H-01～T-H-08を飛ばしてIへ進んでください。

今年度、回答対象学級で、支援が必要な児童生徒へ指導・支援をする経験がありましたか。　※ 必須

- ◯ 該当する経験あり
- ◯ 該当する経験なし

戻る　　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

H　通常の学級での指導・支援に関する困難さ

T-H-00 で「該当する経験あり」を選んだ方は、経験した場面を振り返り、回答してください。各項目の場面を今年度経験していない場合は、その行の「該当する経験なし」を選んでください。回答：1　まったく感じない　2　あまり感じない　3　どちらともいえない　4　やや感じる　5　強く感じる　※ 必須

	まったく感じない	あまり感じない	どちらともいえない	やや感じる	強く感じる	該当する経験なし
T-H-01　支援が必要な児童生徒の状況を、授業や学級経営の中で十分に把握することが難しい。	◯	◯	◯	◯	◯	◯
T-H-02　学級全体への指導と個別の支援を両立することが難しい。	◯	◯	◯	◯	◯	◯
T-H-03　授業中に必要な支援を行う時間や人手を確保することが難しい。	◯	◯	◯	◯	◯	◯

T-H-04　支援の方法が適切かどうかを判断することが難しい。	○	○	○	○	○	○
T-H-05　支援を始める際に、関係する教職員と方針をそろえることが難しい。	○	○	○	○	○	○
T-H-06　保護者との情報共有や支援方針の意見のすり合わせが難しい。	○	○	○	○	○	○
T-H-07　複数の教員が関わる場合、情報共有を続け、指導・支援の一貫性を保つことが難しい。	○	○	○	○	○	○
T-H-08　支援が必要な児童生徒への指導・支援を、自分一人で抱え込みやすい。	○	○	○	○	○	○

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

Ⅰ　今後必要だと感じる支援・情報

今年度の回答対象学級での経験を中心に、今後必要だと感じる支援・情報を<u>すべて</u>選んでください。「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。　※必須

- [ ] 通常の学級で行いやすい授業中の支援に関する情報
- [ ] 学級経営や集団づくりに関する情報
- [ ] 支援が必要な児童生徒の理解に関する研修
- [ ] 校内で相談できる時間や体制
- [ ] 特別支援教育コーディネーターからの助言
- [ ] 管理職や学年主任等による調整
- [ ] 外部専門家や関係機関からの助言
- [ ] 教材、ICT、支援機器等の活用に関する情報
- [ ] その他
- [ ] 現時点では特にない

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

J　自由記述

T-J-01　通常の学級で現在行っている指導・支援のうち、児童生徒の学習参加や学びにつながっていると感じる取組があれば、具体例を一つ記入してください。（任意）

児童生徒の学習参加や学びにつながっていると感じる取組

T-J-02　通常の学級での個に応じた指導・支援を行う上で、学校に整えてほしい環境や仕組み、その他必要な支援があれば記入してください。（任意）

学校として整えてほしいこと

戻る　次へ

一時保存

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所

通常の学級担任の先生にご回答いただくにあたってのお願い

日頃より、国立特別支援教育総合研究所の研究活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本書は、通常の学級担任票をWebアンケートフォームで回答する方法をまとめたものです。
本調査への参加は任意です。回答しない場合にも、不利益はありません。

記

1　回答をお願いする方

学校から担任票の回答案内を受けた方にお願いします。回答者の選定方法は、学校長用の【資料2-5】「調査回答者の選定方法について」に示しています。担任個人の努力や力量を評価する調査ではありません。

2　回答期間・所要時間

回答期間は令和8年10月26日から11月30日までです。所要時間は約30分です。

3　回答前に準備するもの

・担任票の回答用URL又はQRコード
・封筒の宛名部分に記載された学校コード
・御自身で決める任意の４桁数字

4　回答の手順

（1）担任票のURLを開くか、QRコードを読み取ります。
（2）学校コード〔必須〕（封筒の宛名右上部分に記載）を入力します。
　学校コードは、調査書類をお送りした**封筒の宛名ラベル右上**に、「SC」に続けて記載されている半角英数字5文字です（例：S0001、C0001）。入力する際は、「SC」や括弧・コロンを含めず、**5文字のコードのみ**を入力してください。同じ学校で回答する場合は、学校票・コーディネーター票・担任票のいずれも、同じ学校コードを使用します。封筒がお手元にない場合は、校内で調査書類を取りまとめている方にご確認ください。
　　【例】宛名ラベルの表示（SC：C0001）の場合、入力する学校コード：C0001　となります。
　　※小学校はSから始まる５文字、中学校はCから始まる５文字となります。
（3）説明を読み、回答へ協力する場合は「協力し、担任票に回答する」を選びます。
（4）質問に回答し、内容を確認して送信します。

5　回答時のお願い

・学校として協力している場合でも、御本人の回答は任意です。
・担当する学級の状況について回答してください。
・分からないことは、推測せず、選択肢に沿って回答してください。
・自由記述以外の項目は、必須回答となっておりますので、回答しないと先に進めません。
・回答中に時間の確保が難しくなった場合や負担を感じた場合は、途中で回答をやめることができます。
・自由記述には、学校名、氏名など、個人や学校が分かる情報を書かないでください。
・学校名と学校コードの対応表は、回答データとは別に保管します。

6　回答後に参加を取りやめる場合
令和8年12月18日（金）までに撤回用Webフォームから申し出てください。該当する担任票だけを分析対象から除外します。

撤回用Webフォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/gFQ9tCsK2s

【お問合せ先】
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター　総括研究員　横尾　俊（研究副代表者）
〒239-8585　神奈川県横須賀市野比5-1-1
電話　046-839-6866（直通）
電子メール　v-regular_inquiry@nise.go.jp

このアンケートは途中回答保存機能がございます。
以下の再開用URLと記載のある右側のURLをメモ帳にコピー＆ペーストして保管して下さい。
途中回答保存期間は、**1週間**（１６８時間）です。

通常の学級における個に応じた
指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

以下のURLは、サンプルイメージです。そのままコピーできませんので、「一時保存」を押して出てきた個別のURLをコピー＆ペーストしてください。

ご回答いただいたデータを一時保存しました。

ご注意ください

・回答を再開する場合は、下記の再開URLにアクセスしてください。
※再開URLがわからなくなった場合、保存したデータからの再開はできません。
再開URLはメールで送信するかメモ帳などにコピーし、必ずお控えください。
※ログインページがある場合は、ログイン画面からも再開できます。
・回答の一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されます。

再開用URL	https://www14.webcas.net/form/pub/sei37/tannin202611?rid=OawXLJ1kD73v643SYJJPQiT%2FDQc47tFzA053iMKckNk%3D
回答の一時保存期限	2026年11月09日 16時55分

戻る

担任票　協力同意

封筒ラベルに記載のある５桁の学校コードを半角英数字５文字で入力してください。	S0000
本調査に協力し、担任票に回答しますか。	協力し、担任票に回答する

担任票

任意の４桁の数字	0008
担任区分	小学校第1～3学年側

【調査の目的】
　本調査は、通常の学級における個に応じた指導・支援の状況を把握し、学校での実践や校内支援体制づくりに役立つ知見として整理することを目的としています。
具体的には、以下の観点に着目して関連を整理します。

①　児童生徒の学びの状態と日常の指導・支援
②　担任の指導・支援と校内での相談・情報共有
③　学校としての方針・支援体制と、特別支援教育コーディネーターによる相談・調整や担任の受け止め

　また、担任、特別支援教育コーディネーター、管理職等の異なる立場から同じ学校の支援の状況を把握するため、学校票・コーディネーター票・担任票の３種類の調査票を用います。１校当たり、学校票１名、コーディネーター票１名、担任票２名の計４名にご回答いただき、学校としての方針や支援体制、校内での相談・調整、日常の指導・支援がどのように関係しているかを検討します。
　個々の学校や教員を順位づけたり判定したりするものではありません。回答は研究目的に限って使用し、個人や学校が特定される形で公表しません。

　この調査に正解・不正解はありません。自由記述以外の項目は、すべて御回答いただかないと送信できません。回答者ご自身が把握している範囲で、今年度の状況に最も近い回答を選んでください。
　小学校及び義務教育学校前期課程では、回答者が担任されている通常の学級を対象とします。
　中学校及び義務教育学校後期課程では、学級の状態・学級経営に関する項目は、回答者が担任している通常の学級についてお答えください。授業実践に関する項目は、その学級で担当している教科等の授業場面についてお答えください。校内での相談・情報共有、困難感、必要な支援は、今年度担任している回答対象学級での経験を中心にお答えください。

【この調査で想定する児童生徒】
　診断や通級による指導の利用の有無にかかわらず、日常の学習・生活場面において、特別な教育的支援が必要であると感じられる児童生徒を想定します。

【回答方法】
　各設問に示す選択肢に沿って、回答してください。

■ 担任区分:小学校第1～3学年側

A 回答者・学級等について	
TA-01　学校種を教えて下さい。	小学校
TA-02　回答者のお立場	通常の学級の学級担任
T-A-04　担任する学年	小1

■ 担任区分:小学校第4～6学年側

A 回答者・学級等について	
TA-01　学校種を教えて下さい。	小学校
TA-02　回答者のお立場	通常の学級の学級担任
T-A-04　担任する学年	小4

■ 担任区分：中学校第1学年

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。	中学校
TA-02　回答者のお立場	通常の学級の学級担任
TA-03　担当教科（複数回答可）	国語,社会
T-A-04　担任する学年	中1

■ 担任区分：中学校第3学年

A 回答者・学級等について

TA-01　学校種を教えて下さい。	中学校
TA-02　回答者のお立場	通常の学級の学級担任
TA-03　担当教科（複数回答可）	国語,社会
T-A-04　担任する学年	中3

A　回答者・学級等について

T-A-05　教職経験（今年度を含めて何年目ですか）	1年目
T-A-05a　特別支援教育に関する担当経験（複数回答可）	特別支援学校での勤務
T-A-05b　特別支援教育に関する担当等の経験（今年度を含め、担当経験は通算で何年目ですか。同じ年度に複数の担当を兼ねていた場合も、１年として数えてください。）	1年目
T-A-06　回答の対象とする学級の児童生徒数	10人未満
T-A-07　回答の対象とする学級で、特別な支援が必要と感じる児童生徒のおおよその人数	1人

B　回答対象の学級で見られる支援の必要性

回答対象学級において、今年度、児童生徒に見られる支援の必要性について、あてはまるものをすべて選んでください。「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。

見ることへの困難さに関する支援,聞くことへの困難さに関する支援

C　担任から見た学級の児童生徒の学びの状態

回答対象学級全体について、支援が必要な児童生徒を含む児童生徒に、次の状態がどの程度見られるかをお答えください。

T-C-01　安心して学習に参加している。：ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-02　学習の流れや、何をすればよいかを理解して取り組んでいる。：ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-03　自分に合った方法や必要な支援を活用して取り組んでいる。：ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-04　自分の考えや、わからないこと・困っていることがみてとれる。：ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-05　間違いやうまくいかないことがあっても、学習に取り組み続けている。：ほぼすべての児童生徒に見られる
T-C-06　学習内容を理解したり、「できた」「わかった」と感じたりしている。：ほぼすべての児童生徒に見られる

D　日常の指導・支援の状況

回答対象学級で現在行っている授業・学級経営上の取組についてお答えください。中学校等では、授業に関する項目は回答対象学級で回答者が担当する教科等の授業場面を、支援に関する項目は今年度の回答対象学級での取組全体を基準にしてください。

T-D-01　児童生徒が授業の見通しを持てるように、活動の流れやめあてを示している。：よくあてはまる
T-D-02　説明、板書、配付物、ICT等を組み合わせ、内容を理解しやすいようにしている。：よくあてはまる
T-D-03　発言、記述、選択、実物操作など、児童生徒が考えを表しやすい方法を用意している。：よくあてはまる
T-D-04　課題の量、手順、時間、提示方法を、児童生徒の状況に応じて調整している。：よくあてはまる
T-D-05　座席、掲示、音、光、動線など、学習しやすい教室環境を整えている。：よくあてはまる
T-D-06　児童生徒が困ったときに、援助を求めやすい方法を確認している。：よくあてはまる
T-D-07　学習上・行動上の困難が見られたとき、本人の特性だけでなく、課題の提示方法や教室環境との関係も検討している。：よくあてはまる
T-D-08　間違いやわからないことがあっても安心して学べるようにしている。：よくあてはまる
T-D-09　評価の観点や課題提出の方法について、必要に応じて取り組みやすい方法を検討している。：よくあてはまる
T-D-10　支援が必要な児童生徒について、保護者と学校での様子や支援方針を共有している。：よくあてはまる
T-D-11　学年の教員や教科担当者と、児童生徒への関わり方を共有している。：よくあてはまる
T-D-12　指導・支援の方法を、児童生徒の様子を見ながら適宜見直している。：よくあてはまる

E　校内での相談・情報共有の状況

今年度の回答対象学級で支援が必要になった場合に、相談・情報共有を利用できる状態についてお答えください。回答は、「まったくあてはまらない」から「よくあてはまる」です。

T-E-01　必要な場合に、校内で相談できる相手がいる。：よくあてはまる
T-E-02　必要な場合に、特別支援教育コーディネーターに相談しやすい。：よくあてはまる
T-E-03　必要な場合に、管理職や学年主任等と、通常の学級での支援について相談できる。：よくあてはまる
T-E-04　必要な場合に、児童生徒への支援方針を、関係する教職員と確認できる。：よくあてはまる
T-E-05　必要な場合に、授業や学級経営で活用できる形で、情報や助言を得られる。：よくあてはまる
T-E-06　必要な場合に、校内で共有された支援方針を、日常の授業や学級経営に生かせる。：よくあてはまる
T-E-07　必要な場合に、外部専門家や関係機関から得た助言を、授業や学級経営に生かせる。：よくあてはまる

F　相談・確認の頻度

今年度の回答対象学級で、相談や支援方針の確認を実際に行った頻度についてお答えください。

「必要な場面なし」と、0「必要な場面はあったが実施していない」を区別してください。
１＝年１～数回程度、２＝月 1 回程度、３＝月 2～3 回程度、４＝週 1 回以上です。

T-F-01　支援が必要な児童生徒について、校内の教職員に相談する機会：週１回以上
T-F-02　支援が必要な児童生徒について、特別支援教育コーディネーターに相談する機会：週１回以上
T-F-03　支援内容を、学年会や校内委員会等で確認する機会：週１回以上
T-F-04　保護者と支援の状況や方針について共有する機会：週１回以上

G　指導・支援に困難を感じた場合の相談先

支援が必要な児童生徒への指導・支援に困難を感じた場合、あなたは誰に相談しようと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。これまでに相談した経験がない場合も、相談するとしたら誰に相談するかをお答えください。

教職員の相談先 **※「14 誰にも相談しないと思う」「15 わからない」を選ぶ場合は、他の選択肢を選ばないでください。** **※「16 その他」の記入欄には、個人名や学校名など、個人を特定できる情報は記入しないでください。**	01　管理職（校長、副校長・教頭など）,02　特別支援教育コーディネーター,03　同じ学年・教科等を担当する教員

H　通常の学級での指導・支援に関する困難さ

今年度の回答対象学級で、支援が必要な児童生徒への指導・支援に関する経験の有無を選んでください。「該当する経験なし」の場合は、T-H-01～T-H-08を飛ばしてIへ進んでください。

今年度、回答対象学級で、支援が必要な児童生徒へ指導・支援をする経験がありましたか。	該当する経験あり

H　通常の学級での指導・支援に関する困難さ

T-H-00 で「該当する経験あり」を選んだ方は、経験した場面を振り返り、回答してください。各項目の場面を今年度経験していない場合は、その行の「該当する経験なし」を選んでください。回答：1　まったく感じない　2　あまり感じない　3　どちらともいえない　4　やや感じる　5　強く感じる

T-H-01　支援が必要な児童生徒の状況を、授業や学級経営の中で十分に把握することが難しい。：該当する経験なし
T-H-02　学級全体への指導と個別の支援を両立することが難しい。：該当する経験なし
T-H-03　授業中に必要な支援を行う時間や人手を確保することが難しい。：該当する経験なし
T-H-04　支援の方法が適切かどうかを判断することが難しい。：該当する経験なし
T-H-05　支援を始める際に、関係する教職員と方針をそろえることが難しい。：該当する経験なし
T-H-06　保護者との情報共有や支援方針の意見のすり合わせが難しい。：該当する経験なし
T-H-07　複数の教員が関わる場合、情報共有を続け、指導・支援の一貫性を保つことが難しい。：該当する経験なし
T-H-08　支援が必要な児童生徒への指導・支援を、自分一人で抱え込みやすい。：該当する経験なし

I　今後必要だと感じる支援・情報

今年度の回答対象学級での経験を中心に、今後必要だと感じる支援・情報をすべて選んでください。「現時点では特にない」は、他の選択肢と同時に選ばないでください。	

J　自由記述

T-J-01　通常の学級で現在行っている指導・支援のうち、児童生徒の学習参加や学びにつながっていると感じる取組があれば、具体例を一つ記入してください。（任意）

T-J-02　通常の学級での個に応じた指導・支援を行う上で、学校に整えてほしい環境や仕組み、その他必要な支援があれば記入してください。（任意）

戻る　　登録

通常の学級における個に応じた指導・支援に関する全国調査
（通常の担任票）

調査へのご協力、ありがとうございました。
調査結果速報の受け取りを希望される方は、以下のリンクから「調査結果速報の送付先情報入力フォーム」にお進みいただき、必須事項をご入力ください。

調査結果速報の送付先を登録する
https://forms.cloud.microsoft/r/jVRxmmyUQF

送付先の登録は任意です。登録されない場合も、調査への回答は完了しています。ご登録いただいたメールアドレスは、調査結果速報の送付後、直ちに削除・廃棄する予定です。